

綾部移住希望者のための



# こころん の 教科書

vol.1



綾部で暮らしたいと  
チラッとでも  
考えたアナタに

あやべ市民新聞社



# とある移住者の一日

とある一家(夫婦と子ども3人)



## 村用のある日



ある時は道端のごみ拾い  
またある時は田んぼの柵づくり  
朝からわいわいがやがや  
地域の人たちと話しながらの作業



家族でおひるごはん。  
ウッドデッキの上で食べたり  
庭でBBQしたり。  
時には集落の人とのごはん会も。

天気の良い時期は畑に田んぼに。  
草刈りしたり、  
やることたくさん！  
動いた後のビールは最高！



月に一度は常会。  
村の人と顔を合わせて  
連絡事項を聞いたり近況報告したり。

主人は消防団に入っているので  
時期によっては  
団長点検などの練習へ



8:00

9:00

12:00

13:00

17:00

18:00

19:00

20:00

## 村用のない日

子供を送り出し家事をこなす。  
ほんのひととき休憩した後  
仕事へ。



お弁当。  
子供の給食も地元のお米と野菜が  
ふんだんに使われていて美味しい！

子供の習い事の送迎や  
晩御飯の買い出し。  
宿題を見たり明日の準備をしたり...

満点の星空を見たり  
蛍を見にお散歩に行ったり。  
夜でも楽しみはたくさん！



## 村 用

地域に住む人たちが共同で行う集落の維持管理のための作業。  
毎日ではなく、不定期に集まる。季節ごとに作業内容も変わる。



## 団長点検

毎年6~7月頃に行われる。消防団ごとに日頃の訓練の成果を  
発表するお披露目の場。村の人も大勢見に来る。

# 綾部 あるある 体験談



綾部でよく耳にするのが「ちやっただ弁」。「～された」という意味で軽い敬意を込めた表現になります。ちなみにお隣の舞鶴市ではこれに由来して「ちやっただ祭り」というお祭りがあります。(Sさん)

## こころちゃん流〈糸多住のススメ〉

### 綾部に住むとこんなにいい！

綾部では家を借りるのも買うのも安いよ。古い家を購入して、自分の手で好きなように改修して住んでいる人も多いの。借家でも「好きなようにいじっていいよ」という家主さんも多いから「いきなり家を購入するのはちょっと」という人は、まずは借家に住んでみて自分好みの家にするのも面白いかも。

借家を好きなように作り替えていくうちに気に入って、そのまま購入してしまう人もいるの。旧い家には田んぼや畑がセットになっているケースが多いから、半農半Xの生活をした人にとっては願ったりがなったりだね。

こころちゃん

親子で綾部に移住してきた女の子。  
おてんばで自然の中で遊ぶの大好き。



# インタビュー 移住者Q&A

## Q 何を求めて移住しましたか？

都会での生活から解放され、里山の近くで自分たちらしい生き方をしたいという想いを持っていました。  
40代男性 職クリエイト中

衣食住のあり方働くことや生活することの根本を自分のなかでも見直していくきっかけになればと。  
30代男性 会社員

経済成長なきシアフセ。できるだけカネなど資本主義的な価値観から離れたいと思っ。  
50代男性 会社員

土が身近にある暮らし。「仕事が暮らし、暮らしが仕事」という生活を実践していきたい。  
60代女性 農家民泊経営

① 大き目のびのびと子育てをする。  
② なにがなんでも米作りができるようになりたい！  
③ そばで自己表現したい！  
40代男性 蕎麦屋店主

自然の中で、自然と調和した農ある暮らしや自分らしい生き方、ライフスタイルを求めて。  
30代女性 ボディセラピスト

田舎で子育てをしたかった。季節を感じながらの生活に憧れて。  
30代女性 主婦

お米作りをしながら、自然の中で暮らしたくて。  
40代男性 ミニージャン

畑や田んぼができて、子育ても楽しみながらできる場所を求めて。  
30代男性 自営業

Before  
移住する前

## Q 移住して変化はありましたか？

「ワクワクすること優先する」などのコトバを指標に、自分の生き方を綾部で探求しています。  
40代男性 職クリエイト中

仕事に出ている「務めの時間」と「生活の時間」にメリハリができ、気持ちのうえでも余裕が出来ました。  
30代男性 会社員

移住前は受け身なことが多かったが、今は自分が震源地でもあるので、責任もあるが楽しさはこれまた計り知れない。  
40代男性 蕎麦屋店主

食べ物や生活に必要なものはできる限り自分で作り、丁寧な暮らし方を心がけるようになった。  
50代男性 会社員

暮らしと仕事の一体化。お金ばかりに振り回されれない。自分が楽しいと思っことが増えた。  
60代女性 農家民泊経営

出張仕事が多いのですが、なんでもかんでもやるのではなく、自分に大事なものがどうかをしっかりと選択して生きるようになった。  
30代男性 自営業

何でも出来ることは自分でするようになった。  
40代男性 ミニージャン

季節を感じながら生きるようになった。四季の移り変わりを感じられる。  
30代女性 主婦

仕事だけにならなような働き方、暮らし方、ライフワークバランスを考えるようになった。  
30代女性 ボディセラピスト

After  
移住した後



# あやべ市民新聞

1983年に創刊した綾部を代表するローカルメディア。綾部市全域で販売され、市民に寄り添う新聞として幅広い世代に愛されています。

## 購読者の声



あやべ市民新聞のおかげでほとんどの農機具をタダで譲ってもらった。市民新聞には「くらしのしおり」というコーナーがあり、譲りたいものや手に入れたいものなどがあつたらなんと無料で掲載してくれる！

私は「農機具を無料または格安で譲って」と掲載してもらったんですが、

その日の夕方から何件もの電話がかかってきて、あつという間にタダで農機具一式を譲ってくれる人に出会うことができた。綾部ではネットなどに頼るより、まずは市民新聞でしょう！（50代 男性）

綾部の町名や地名、地域名を知ることが出来てありがたい。各地域に住まわっている人を知ることができる気がしてワクワクする。（40代 男性）

市政や地域の情報、コラムまで幅広く記事が盛り込まれ、読み応えがある。ページ数が少ないので、**力まずに一気に読める**ところがいいところ。（30代 男性）

神社仏閣の行事や町のイベントなどはよく広告に出ているので参考にして子どもと出掛けることも多い。**SNSでは得られない情報が載っている**。（30代 女性）

次号をお楽しみに！



## なんと!



市内の5軒に3軒近く購読している  
綾部市内では  
最も訴及力のある媒体です

発行は毎週 **月・水・金** の夕刊

購読料は(税込み)

月 **990** 円

市外への発送もOK!

月 **1,140** 円

郵送料込み

送料の7割は弊社が負担

(株)あやべ市民新聞社

〒623-0046 綾部市大島町沓田4-3

☎0773-42-1125

あやべ市民新聞

検索